取扱説明書

DAYTONA corp.

S68405①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ホットグリップ巻きタイプ 95mm	適応車種	商品NO.
	汎用	68405

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

▲警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
高温注意	表記の注意を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
水ぬれ禁止	表記の注意を告げるものです。		

⚠注意

実施

- この商品は 12V 専用です。6V 車への取り付けはできません。また、頻繁にストップ&ゴーの繰り返しで短距離走行ではバッテリーへの充電が不十分です。そのようなご使用状況の際は走行後充電するなどのバッテリーのメンテナンスを行ってください。
- ヤマハ初期マジェスティ(4HC)には適合しません。車両の発電能力不足の為使用出来ません。
- EFI(インジェクション)車や、イモビライザー装着車、テールランプなどに LED ランプを使用している車両は電源の配線にご注意ください。
- EFI 車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットするものがあります。電力制限のない配線を確認して配線してください。また、テールランプに LED を使用している車両や、イモビライザーなどの盗難防止機能の車両などへの配線については特に注意してください。
- LED ランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりますので絶対に配線しないでください。

2013/09/17

実施

- イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障の原因となります。
- ホットグリップ装着前に車両の特徴を把握してください。必要に応じて車両メーカーなどに問い合わせ・確認してください。
- 商品の特性上ヒートシート表面にキズ・亀裂等が見られる場合は絶対に使用しないでください。
- 本品は消耗品です。グリップ部が磨耗しますので、定期的に交換してください。
- 必ずグローブをはめて使用してください。
- **走行中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させて異常箇所を必ず点検し、購入先や弊社にご連絡ください。**

水ぬれ禁止

- スイッチ本体は防水設計されていません。

  下記の取り付け方法を厳守してください。

その他

- ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行ってください。

  エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます。(メインキーON の状態で電力が供給されます。)

  また、グリップが暖まるまで少々時間が掛かりますので 3-5 分ほど暖気運転を行ってください。

  (注)長時間の暖気運転は逆にバッテリーを痛めますのでご注意ください。

高温注意

- 長時間の使用により低温火傷の恐れがあります。無意識のうちに火傷をする可能性がありますので、目安として３０分に１回程度電源スイッチをＯＦＦにするなどしてご使用ください。なお、グローブ着用時でも低温火傷の恐れがあります。ご注意ください。

本商品の特徴

- 車両のグリップに巻きつけるタイプで巾広くお使いいただけます。
- グリップ全体に発熱線を配置せず、接触面の大きい手のひらに発熱線を配置した電力消費を抑えた省エネタイプのホットグリップです。

商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- 消費電力約 11W
- グリップ全長 95mm
- ヒートシート部　防滴仕様

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	ヒートシート左	95mm	1	⑤	結線コネクター		2
②	ヒートシート右	95mm	1	⑥	両面テープ	30x20x1.0	1
③	スイッチ		1	⑦	結束バンド	150mm	3
④	アースハーネス	600mm	1	⑧	紐		2

取付方法

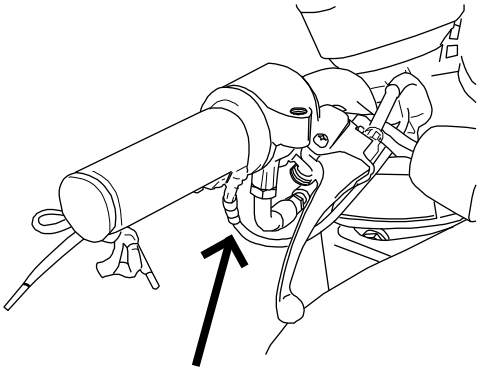
作業手順

1　車体バッテリーのマイナス端子を取外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁しておきます。

2　ヒートシートの作動(暖まるか)確認をします。12V のバッテリーのプラス・マイナスにヒートシートから出ている 2 本の端子をつなげて暖めます。左右のヒートシートをつなげてテストしてください。約 1 分ほどでテストは終了してください。暖まりを感じる程度でテストは終了です。それ以上の接続はバッテリーを消耗しますので控えてください。作業には十分ご注意ください。濡れた手や、近くに火気が無いことを確認して作業してください。

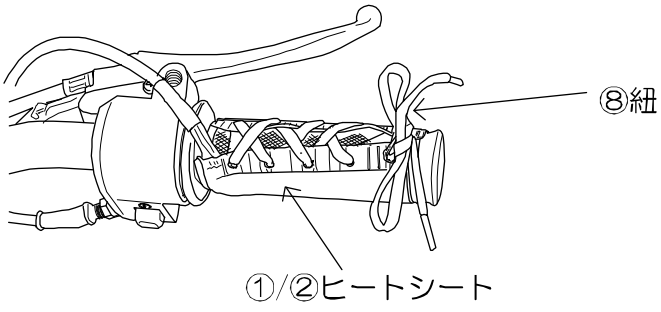
3　使用グリップに本製品①ヒートシートを巻きつけ、付属の⑧紐でグリップに固定します。

【配線取り回し参考図】



アクセル側グリップから出ている
配線のとりまわしは数回アクセルをまわし、
運転に支障が無いように（配線が突っ張らない）
余裕をもたせてください。

【紐巻き方参考図】



※上記図の紐の結び方は参考です。⑧紐が長い場合はカットしてください。

※シートヒーター固定の際は、シートが切れる恐れがあります。同梱されている紐はゆっくりと 1 穴ずつ通すようにしてください。紐を緩く通して、最後に強く引っ張ると穴が破れる原因となります。ご注意ください。

4　電源の配線を確認します。下記事例は参考です。車両や仕様により電源は異なります。テスターなどで電圧の確認や、配線図などで確認して安全・確実に配線してください。

プラス側の電源

取り付け場所参考例・・・⑴フロントブレーキマスター　⑵テールランプ　⑶車体アクセサリー

⑴フロントブレーキマスターのストップランプセンサーを利用する。

メインキーON の状態で 12V 以上電気が流れている線を使用する。（2 極の端子のうち片側は 12V 流れていませんのでご注意ください。）接続には付属の⑤結線コネクターなどを利用してください

⑵テールランプの常時点灯（スモールランプ）の配線を利用する。

メインキーON の状態で 12V アクセサリー電気が流れている線を利用する。ブレーキランプの線に接続をするとブレーキ作動時のみしか電気が流れませんのでご注意ください。接続には付属の⑤結線コネクターを利用してください。

⑶ 車体アクセサリー電源を利用する。メインキーON の状態で１２Ｖ電源が入る線を利用する。

※以下の接続は絶対にお止めください。（プラス・マイナス電源共禁止です。）

１ヘッドライト・ウインカー・ホーン・メーター照明への接続。

２細い配線（被覆径で２mm以下の線）には接続不可。特にＬＥＤテールランプ装着車は注意。

３バッテリーへの直接接続。（マイナスのアース線は可能）

４コンピューターユニット・イモビライザー等への配線。

マイナス側の電源

参考取り付け場所・・・⑴ ボディーアース⑵バッテリーのマイナス端子

⑴ ボディーアースを利用する。フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

⑵ 塗装の削りが困難な場合はアース線を延長して直接バッテリーのマイナス端子につなげてください。

純正配線色例

純正ハーネス

メーカー名	プラス側(赤)	マイナス側(黒)
ホンダ	赤/黒　または黒	緑
ヤマハ	茶　または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

※純正ハーネス色については参考資料となります。車種によっては色が異なる場合があります。必ずオーナーズマニュアルやテスターでご確認ください。

【結線コネクター使用方法】※配線の被覆は剥がさず使用します。

① 結線コネクター

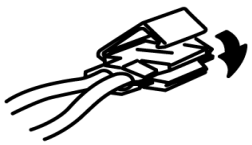
② 貫通した穴の方へ純正ハーネスを通します。

片側がふさがった穴へハーネスを通します。

③ プライヤー等で金具を押し込みます。

しっかり押し込まないと接続不良になります。

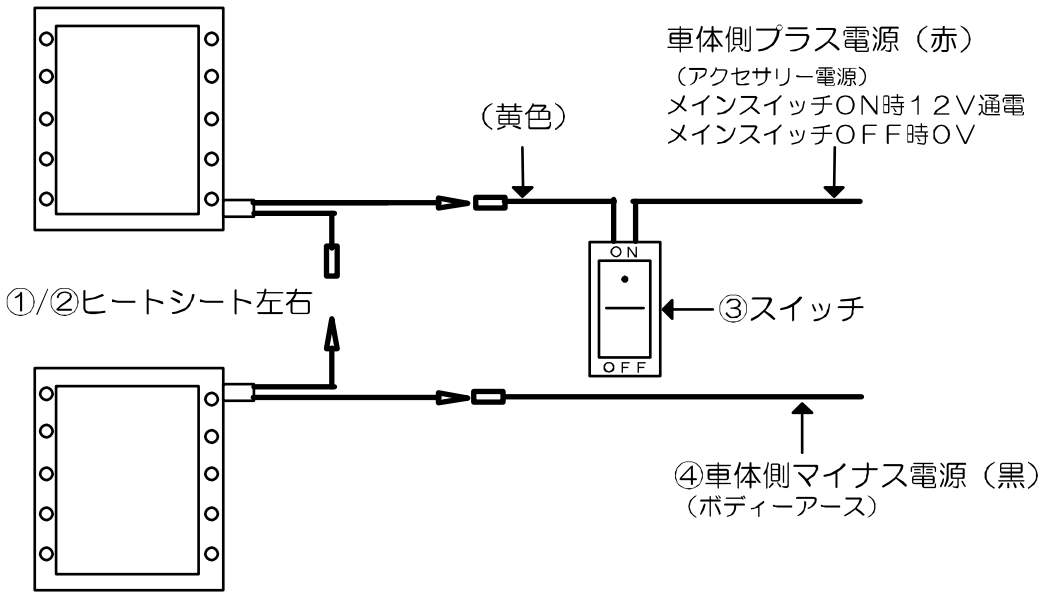
④ フタを閉じて完了です。



⑤結線コネクターは長期間の使用で接触がうまくいかない場合があります。

定期適に接続状態のメンテナンスをしてください。

ホットグリップ配線図



①ヒートシート左②ヒートシート右③スイッチ④アースハーネスは、各キボシ端子を配線図通りに接続してください。車体マイナス電源コード、プラス電源コードは⑤結線コネクター等を使用して接続してください。⑦結束バンドで各配線コードをまとめます。③スイッチは水抜き穴が下になるように取り付けてください。

【スイッチの取り付け参考装着図】

(水抜きのため ON 側を下にする事をお勧めいたします。)

トラブルシューテング Q&A

Q ヒートシートがあたたまらない。

A

① 各配線のキボシ・結線コネクターはしっかり接続されているか確認してください。
② ON/OFF スイッチから出ている黒色線(アース線)がしっかり接続されているか確認してください。
特にボディーアースの場合は塗装が剥がれたところにしっかりアースがされているか確認してください。
アース不良では暖まり方が弱まります。
③ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電気がながれているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで